

授業科目名	自然と人間		担当教員名	吉本 春樹
必修/選択	選択	開講学年・学期	2年 前期 (年間開講数 1講座)	
科目区分	基礎科目	単位数	2単位 (30時間)	
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 / 単独	
		特記事項		
授業の到達目標	自然と人間の関わりを、身近な課題としてとらえることができるように、科学的識見を育てる。			
授業の概要	身近な自然に興味を持つと共に、今日の人間の抱える自然との関わりの中での環境問題や事象について、意見交換しながら解決策を考える。			
テキスト	使用しない			
参考書・参考資料等	田中修著「雑草の話」中公新書、西岡修三「低炭素社会のデザイン」岩波新書、丸山宗利「昆虫はすごい」光文社新書、柳沢桂子「いのちと環境」ちくまプリマー新書、他			
成績評価の方法	授業への参加意欲・態度…40%、定期試験…60%			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	自然とは何か。日本の四季の移り変わりをどのように感じ取るのか。			
第2回	ヒトとは何か。人が生きていくために何が必要か。植物雑学(早春の草花)			
第3回	感覚でとらえた自然(その1)。光の世界。植物雑学(春の七草①)			
第4回	感覚でとらえた自然(その2)。視覚以外の感覚と世界観。植物雑学(春の七草②)			
第5回	自然界のつりあいと自然破壊。自然保護の意義。植物雑学(春の七草③)			
第6回	自然と農業。世界の食糧問題。植物雑学(花粉症を引き起こす草花)			
第7回	水と自然。日本の気候・気象の変化の特徴。世界の気候変動。動物雑学(日本の小動物①)			
第8回	空気と自然。大気汚染・地球温暖化。動物雑学(日本の小動物②)			
第9回	人間の生活とエネルギー。自然エネルギー。動物雑学(日本の小動物③)			
第10回	自然の中の人間。世界の人口問題の歴史。動物雑学(昆虫の世界①)			
第11回	自然と災害。資源とゴミ問題。動物雑学(昆虫の世界②)			
第12回	科学技術の進歩。環境汚染。植物雑学(夏の草花)			
第13回	消費社会と循環型社会。自然との共生。			
第14回	生命の尊重・命をつなぐ意味。長寿社会の課題。			
第15回	環境保全と人の役割。動物園・植物園の役割。			
定期試験	筆記試験			